

国立大学法人 筑波技術大学
保健科学部

2023 Tsukuba
University of
Technology

Faculty of
Health
Sciences



視覚障害者

・聴覚障害者のための大学



Faculty of Health Sciences

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

保健科学部では、視覚障害者の高等教育機関として、保健医療分野や情報技術分野で社会的に活躍できる専門職業人を育成する目的とし、本学における教育により以下の能力を身に付けた者に学位を授与します。

[修得すべき学修目標]

1. 幅広い教養および各専門分野の専門知識と専門技術に加え、それらを応用する能力や論理的思考に基づく問題解決能力
2. 論理的思考力と自己表現力に基づく対人コミュニケーション能力を備え、情報化、国際化の発展にも柔軟に対応できる能力
3. 自らの成果を的確に伝える発信力

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

保健科学部では、卒業認定・学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)において示した知識と技術を学修するため、教養教育系科目と専門教育系科目により教育課程を体系的に編成します。加えて、教員免許取得希望者のための教職課程を設置します。また、障害に配慮した教育方法・教育環境により、学生一人ひとりが必要な能力を身に付けるよう教育課程を編成・実施します。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

保健科学部は医療系と工学系の専門分野を持つ学部であり、次のような人を求めています。

1. 大学での学修に必要な基礎学力を有していると共に新しい分野に挑戦する意欲を持っている人
2. 鍼灸学や理学療法学、情報システム学・経営情報学に興味を持ち、積極的に学修に取り組む意欲を持っている人
3. 医療技術者または情報システム関連の技術者・従事者になりたいという目的意識を持っている人
4. 将来に対する目標を持ち、共生社会の構築に参画貢献しようとする意志を持っている人

公式サイト「教育方針」のページも併せてご覧ください。

https://www.tsukuba-tech.ac.jp/departments/hs/education_policy/

定員と取得可能な学位 [保健科学部]

		入学定員	収容定員	学位
保健学科	鍼灸学専攻	20名	80名	学士(鍼灸学)
	理学療法学専攻	10名	40名	学士(理学療法学)
情報システム学科		10名	40名	学士(工学)
合 計		40名	160名	

視覚に障害のある学生が学ぶ

保健科学部

Contents

- 2 保健科学部の概要
- 2 卒業後の自立へ
- 4 保健学科 鍼灸学専攻
- 6 保健学科 理学療法学専攻
- 8 情報システム学科
- 10 障害者高等教育研究支援センター
障害者基礎教育研究部・障害者支援研究部
- 14 附属東西医学統合医療センター
- 15 附属図書館・保健管理センター
- 16 学生座談会 筑波技術大学の学生生活！
- 22 卒業生インタビュー 私は現在…
- 24 キャンパスライフ
- 26 国際交流
- 28 入学案内・各種費用
- 29 オープンキャンパス開催日程
- 30 アクセスマップ

保健科学部長

加藤 一夫

KATOHI Kazuo

保健科学部では、皆さんの夢の実現のため、様々な専門性の高い講義や体験型授業・実習を用意しています。他人との競争のみに終始することなく、自分自身のあるべき姿、生き方を考え、将来の目標を形成していくことを全面的にサポートします。また、学生生活を通して、自らのあり方、生き方を知り、これから待つ社会生活に必要なコミュニケーション能力、情報処理能力、将来設計能力を広範囲に身に付けられるように全力で応援します。

皆さんの夢の実現が筑波技術大学の最大のミッションです。



保健科学部の概要

保健科学部は、鍼灸学専攻と理学療法学専攻の2つの専攻分野がある保健学科、そして情報システム学科で構成されています。私たちは視覚障害者を対象とする高等教育機関として、技術革新・情報化・国際化により変化する社会に柔軟な対応ができる、専門的医療技術者及び情報技術者の育成を目指します。

卒業後の自立へ

私たちは、学生たちの卒業後の自立を目標のひとつに掲げています。そのためにはコミュニケーション力と専門知識、専門技術の獲得が重要です。各学科・専攻は、それぞれに工夫を凝らして学生のコミュニケーション力を育むとともに、知識だけではなく本物の技術を身に着けるための実践的な教育を取り入れています。

保健学科では病院等での実習、情報システム学科では企業での実習をカリキュラムに組み込み、働くことを意識してもらっています。その他、国際感覚を磨くためのEnglish Loungeや様々な海外研修事業、社会人に必要なファッションやメイクアップ講座なども豊富に準備されています。



保健学科

鍼灸学専攻

Department of Health
Course in Acupuncture and Moxibustion



2021年度

あん摩マッサージ指圧師、
はり師、きゅう師

国家試験合格率

100 %
達成

保健学科

理学療法学専攻

Department of Health
Course in Physical Therapy



2015～2021年度

理学療法士

国家試験合格率

93.5 %
達成

(43名 / 46名)

情報システム 学科

Department of
Computer Science



2015～2021年度

就職率

97 %
達成

(61名 / 63名)

Profession

保健学科

鍼灸学専攻

Department of Health
Course in Acupuncture and Moxibustion

1 現代医学を基盤とした臨床能力育成

東洋医学と西洋医学の統合を目指し学習します。

2 手から手へ技術を伝える教育

障害に合わせた支援で長所を伸ばします。

3 実践力を鍛える

バリエーション豊かな臨床実習、附属東西医学統合医療センターを利用した外来実習を行います。

鍼灸学専攻では、鍼灸・手技療法に関する専門的な知識と技術を身につけた、はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師の養成を行います。特に、現代西洋医学を基盤とした知識と診療技術を身につけ、同時に東洋医学の視点も兼ね備えた高い専門性を教育し、医療に貢献できる専門技術者を育成します。

カリキュラムポリシー

鍼灸学専攻のカリキュラムの特色は、現代医学の知識を基盤に身につけ、尚且つ、東西医学を統合した学習内容と附属施設を利用して行う高い専門性を持った技術教育

です。個々の障害の程度や個性に合わせて無理なく学習が行えるように配慮されたカリキュラムになっています。3年次より臨床実習がスタートし、地域のボランティアの方々を対象とした臨床実習、本学部附属の東西医学統合医療センターで実施される医療施設実習など、充実した実習を通して実践に必要な知識や技術を学びます。さらに、教職課程を履修することで、中学校および高等学校教諭の保健の一種免許を取得できます。





豊富な種類の見る教材・触れる教材で学びます

開設科目例

- 1年次 …… 解剖学、解剖学実習1、生理学1・2、障害補償演習1・2ほか
- 2年次 …… 東洋医学概論、経絡経穴学、あん摩基礎実習、内科学、整形外科学ほか
- 3年次 …… 東洋医学臨床論、はりきゅう理論、臨床医学総論、臨床実習1ほか
- 4年次 …… 総括講義、鍼灸手技社会学、臨床実習2・3ほか

教養教育系科目

- …………… 修学基礎A・B、情報基礎1・2、英語1・2、健康・スポーツ1・2ほか

- 教職課程 …… 教職概論、教育制度論、生徒指導論ほか

卒業後の進路

本専攻を卒業して国家試験に合格すると、進学及び、企業のヘルスキーパー、病院・治療院・介護施設勤務、独立開業など多彩な進路があります。

主な
就職先
進学先

○教育機関: 島根県立盲学校ほか ○医療・介護福祉施設: 医療法人 桜水会グループ、有限会社健祐、ながみね治療院、さくらメディカル株式会社、株式会社フレアス、株式会社グローバルスポーツ医学研究所ほか多数 ○ヘルスキーパー(企業内マッサージ師): ソフトバンク、富士通ハーモニー、JALサンライト、日本IBM、日本経済新聞社、株式会社サイバーエージェントウィルほか ○進学: 筑波技術大学大学院、名古屋市立大学大学院、筑波大学理療科教員養成施設、筑波技術大学附属東西医学統合医療センター研修生

STAFF

教授

鮎澤 聡

AYUZAWA Satoshi

教授

石崎 直人

ISHIZAKI Naoto

教授

加藤 一夫

KATOH Kazuo

教授

白岩 伸子

SHIRAIWA Nobuko

教授

殿山 希

DONOYAMA Nozomi

准教授

佐々木 健

SASAKI Ken

准教授

志村 まゆら

SHIMURA Mayura

准教授

近藤 宏

KONDO Hiroshi

講師

福島 正也

FUKUSHIMA Masaya

助教

笹岡 知子

SASAOKA Tomoko

Profession

保健学科

理学療法学専攻

Department of Health
Course in Physical Therapy



1 充実した教育設備

基礎から応用まで幅広く学ぶための最新設備を用意しています。

2 相談しやすい少人数教育環境

教員との距離が近くいつでも気軽に話せます。

3 実力をつける臨床実習

2年生から外部の病院等で臨床実習を実施しています。



理学療法学専攻では、理学療法に関する高度かつ専門的な知識と技術を習得し、リハビリテーション医療の一翼を担う理学療法士を育成します。特に実習科目や臨床実習において、個々のニーズに合わせた最適な医療を提供できる理学療法士を育てることを目指し、生涯を通じて学ぶ姿勢を養うためのアクティブラーニングを取り入れた教育も行っています。

カリキュラムポリシー

理学療法学専攻のカリキュラムの特色は、臨床経験の重視です。学外施設での臨床実習に加え、本学部附属の東西医学統合医療センターにおいても臨床教育を行います。

授業は障害に配慮した少人数制の丁寧な指導が特徴で、先進的な機器を操作する実習や、専門性の高い内容の講義が行われます。また理学療法士免許を得るのに必要な国家試験への対策も早い段階から行われます。さらに教職課程を履修することで中学校および高等学校教諭の保健の一種免許状を取得できます。



治療場面の設定を学んでいます

開設科目例

1年次・・・解剖学、生理学1・2、医学概論ほか

2年次・・・基礎運動学、理学療法入門、接患接遇法、理学療法評価法1、運動療法基礎、整形外科学、神経内科学、臨床実習1・2ほか

3年次・・・物理療法、義肢装具学、日常生活活動、神経筋疾患理学療法学、精神医学、臨床実習3、リハビリテーション医学ほか

4年次・・・臨床実習4・5、障害者生活環境論、徒手の理学療法学、総合理学療法演習3ほか

教養教育系科目

・・・・・・修学基礎A・B、情報基礎1・2、英語1・2、健康・スポーツ1・2ほか

教職課程・・・教職概論、教育制度論、生徒指導論ほか

卒業後の進路

病院・施設等の求人が多いので、比較的希望に沿った地域や自分に合った職場を選択できます。卒業後は以下のような進路に進んでいます。

主な 就職先 進学先

○医療施設等：板橋中央総合病院、勝田病院、国立国際医療研究センター病院、筑波記念病院、筑波大学附属病院、船橋整形外科病院、獨協医科大学越谷病院、日立製作所日立総合病院、水戸赤十字病院、八郷整形外科内科病院、筑波技術大学附属東西医学統合医療センター、原宿リハビリテーション病院、弘前大学医学部附属病院

○進学：筑波技術大学大学院、アイオワ大学大学院（米国）、筑波大学大学院、杏林大学大学院

STAFF

教授 薄葉 真理子
USUBA Mariko

教授 酒井 俊
SAKAI Satoshi

教授 三浦 美佐
MIURA Misa

准教授 井口 正樹
IGUCHI Masaki

准教授 菅谷 久
SUGAYA Hisashi

講師 中村 直子
NAKAMURA Naoko

講師 佐久間 亨
SAKUMA Toru

講師 松井 康
MATSUI Yasushi

Profession

保健学科

情報システム学科

Department of Computer Science



1 1対1のアドバイザー

学生一人一人の状況を的確に把握します。

2 自分の目的に合った科目選択が可能

選択科目に迷わないよう履修モデルを用意しています。

3 学科が後押し！手厚い就活支援

模擬面接会や企業の人事担当者を招いての企業招致説明会などを行っています。

情報システム学科の最終目標は、学生の「社会的自立」です。そのためには様々な知識や技術を学ばなくてははいけませんが、何より「ヒトとのコミュニケーション力」が大切です。きめ細やかな個別指導や各種補償機器を用いた授業を通して、学生が自ら「コミュ力」を開拓する。これが私たちの目指す教育です。

カリキュラムポリシー

情報システム学科のカリキュラムは、社会で通用する知識と技術、コミュニケーション力が身につくように、座学・演習・調査学習・発表など、バリエーションに

富んだ様々なスタイルの授業を履修できるようになっています。教職課程も履修可能で、中学校教諭の数学と高等学校教諭の情報と数学の一種免許状が取得可能です。充実した教室の補償機器環境はもとより、視覚障害を持ちながら社会で活躍する学外講師の話を聞く機会が多いのも特徴のひとつです。専門分野を極めることも重要ですが、広い視野を持つことも大事だと我々は考えています。

充実したコンピュータ環境により、障害状況によらず、将来につながる学習ができます



開設科目例

- 1年次・・・プログラミング概論、データサイエンス入門1・2、情報システム概論1・2、経営学総論ほか
- 2年次・・・Webプログラミング、ゲームプログラミング、経営情報システム論1・2、多変量解析ほか
- 3年次・・・ネットワーク工学1・2、障害補償技術論、キャリアデザイン、情報セキュリティ、意思決定法ほか
- 4年次・・・Webデータ解析1・2、機械学習、マーケティング論1・2、総合情報システム特別研究1・2ほか

教養教育系科目

……………修学基礎A・B、情報基礎1・2、英語1・2、健康・スポーツ1・2ほか

教職課程…教職概論、教育制度論、生徒指導論ほか

卒業後の進路

卒業生は、システムエンジニアから一般事務職、営業職など幅広い分野で活躍しています。就職活動時には、1日1社の企業招致説明会を開催するなど学科全体で一人一人の学生をバックアップします。

主な 就職先 進学先

○就職先：京セラコミュニケーションシステム、麒麟ホールディングス、NECソリューションイノベータ、ラック、JFEシステムズ、本田技研工業株式会社、日本電気通信システム、サイボウズ、デジタル・インフォメーション・テクノロジー、参天製薬、三井住友海上あいおい生命保険、コネクシオ、クレスコ、ドコモ・データコム、日本赤十字社、UTハートフル、日立産業制御ソリューションズ、東京都、埼玉県立特別支援学校 塙保己一学園ほか

○進学先：筑波技術大学大学院、筑波大学大学院

STAFF

教授

大西 淳児
ONISHI Junji

教授

岡本 健
OKAMOTO Takeshi

教授

小林 真
KOBAYASHI Makoto

教授

坂尻 正次
SAKAJIRI Masatsugu

教授

嶋村 幸仁
SHIMAMURA Yukihito

教授

関田 巖
SEKITA Iwao

准教授

河原 正治
KAWAHARA Masaji

准教授

鶴見 昌代
TSURUMI Masayo

准教授

堀江 則之
HORIE Noriyuki

講師

福永 克己
FUKUNAGA Yoshiki

助教

垣野内 将貴
KAKINOUCHI Masataka

助教

松尾 政輝
MATSUO Masaki

インタラクティブなコミュニケーション
を重視した英語の授業をしています



いつでも支援機器に関する
相談に乗ります

障害者高等教育 研究支援センター

Research and Support Center on Higher Education for People with Disabilities

STAFF

(障害者基礎教育研究部)

教授

伊藤 和之
ITOU Kazuyuki

教授

香田 泰子
KOHDA Yasuko

准教授

天野 和彦
AMANO Kazuhiko

講師

小林 ゆきの
KOBAYASHI Yukino

助教

村上 佳久
MURAKAMI Yoshihisa

助教

嶋 俊樹
SHIMA Toshiki

障害者基礎教育研究部

障害者の高等教育プログラムの開発研究等を行うとともに、大学教育における教養教育系科目等の教育課程の編成および教育の実践に携わります。次の理念に基づき教育を担当します。

1. 人間形成に資する幅広い教養の習得と社会性の涵養
2. 障害を理解し、自ら社会に参加できる自主性・協調性の育成
3. 情報化社会に適応できる情報リテラシーと国際化に対応できる語学力・社会生活を円滑に行うためのコミュニケーション能力の育成

障害者高等教育研究支援センターは、視覚・聴覚障害者の高等教育を支援するために設けられた全国で唯一の組織です。

障害者基礎教育研究部と障害者支援研究部からなり、視覚障害学生の教養教育、教職教育等の実践と視覚障害に特化した支援を行っています。また、障害補償システムの研究・開発および障害者の能力開発に関する研究を進めています。さらに、視覚・聴覚に障害のある学生が学ぶ全国の大学等への支援も行っています。

障害者支援研究部

視覚障害に特化した支援や指導を、各学科等と協力して行います。また、就職活動の支援や進路選択についての助言も担当します。さらにこれらに関連する調査・研究・開発を手がけています。

学習リソースの保障

専門的な教育で使用する各種の教科書や参考書を点字・触図・DAISY・拡大教材にメディア変換しています。教科書以外についても学生個人からの希望に可能な範囲で対応しています。

学外支援として、人文科学・社会科学・英語を中心とした書籍の点訳も行っています。また、各種講習会や講演会の開催、点訳・朗読ボランティアの養成といった事業を通して視覚障害学生の支援にも取り組んでいます。

情報アクセスの支援

学生生活を円滑に送れるようにするために、点字の読み書きや弱視用機器の活用等に関する指導を行っています。在学中や卒業後に役立つ福祉制度や社会的支援についての情報提供もしています。また、パソコンをコミュニケーション機器として利用する技術の習得を、個別に指導しています。

支援情報の収集・発信

本学開学以来の取り組みを通じて得られた知識と経験、さらには学外との連携体制を活かして、他大学で学ぶ視覚障害学生の各種相談・支援を行っています。



STAFF

(障害者支援研究部)

教授

飯塚 潤一

IZUKA Junichi

准教授

金堀 利洋

KANAHORI Toshihiro

准教授

宮城 愛美

MIYAGI Manabi

講師

田中 仁

TANAKA Hitoshi



障害者高等教育研究支援センターは、
以下のような科目を担当しています。

総合教養教育科目

修学基礎Aでは、大学生としての心構えや学修への取り組み方等、学生生活を送るための基本的態度を養います。

教養教育系科目では、人文科学・社会科学・自然科学の各領域にわたる基本的な事項を学修し、多様な知識と物の見方、考え方を身につけます。また、総合的な視野と的確な判断力、専門領域の壁を越えた広範囲な応用能力を育成するために、複数教員が担当する総合的教養科目を用意しています。

開設科目の例／修学基礎A、哲学、心理学、物理学概論ほか

言語・情報教育科目

●外国語科目…グローバル化する社会で活躍できるよう、4技能中心の実践的な英語力を育成します。中国語も選択履修できます。

●日本語科目…日本語の的確な理解と表現能力を身につけます。さらに報告書・レポートのための文書作成法を学びます。

●情報リテラシー科目…視覚障害補償機器としてのコンピュータについての知識と技能を習得します。

開設科目の例／英語1～4、オーラルコミュニケーション1～4、文章技法1・2ほか

障害関係教育科目

視覚障害に関する基礎・病理・障害補償の理解と視覚障害者の就労や社会自立のための基本的な考え方について学びます。

開設科目の例／視覚障害学概論、障害補償演習1・2、点字の理論と実際ほか

健康・スポーツ教育科目

健康や体力づくりを科学として学修するとともに、様々なスポーツの実技を通して、生涯にわたって運動を続け、健康や体力を維持・増進する資質と能力を育てます。

開設科目の例／健康・スポーツ1～6、シーズンスポーツA・B

教職課程

保健科学部・産業技術学部の学生が教員免許状を取得するための科目を担当するとともに、介護等体験、教育実習等、免許取得のための学外実習をコーディネートしています。

本学の特色である情報保障技術を活用した「伝わる授業」により、高い指導力を発揮できる教員の養成を行っています。

開設科目の例／教育心理学、教職概論、教育制度論、数学科教育法、教育方法の理論と実践ほか



中村 友海さん

NAKAMURA Yumi
情報システム学科
2020年度卒業

教職課程を履修した理由は、中学生の頃、先生との交流から学校の楽しさを知り、教育に関心を持つようになったためです。最初は、情報システム学科の授業と並行して履修することがたいへんそうで心配でしたが、やらずに後悔はしなかったかったので、思い切って挑戦してみました。

実際は、苦労した科目もありましたが、「教職概論」を始め、興味があった「生徒指導論」や「教育相談」など、専攻の授業とは全く異なる分野の授業は新鮮でどれも楽しかったです。一緒に受講していた産業技術学部の学生との関わりもあり、聴覚障害について知ることができたのも良かったです。

教育実習では、視覚特別支援学校に2週間行きました。やることが多くたいへんではありましたが、生徒達と関わる貴重な機会でした。最も勉強になったことは、授業の前に生徒の実態把握をしておくことです。生徒の障害や学習状況は一人一人異なるので、同じ授業内容であっても、生徒に応じて調整する必要があることに気づかれました。

最後に皆さんへ、教職課程の授業は、学校の先生という仕事を知ることから始まります。教員になることに少しでも関心があるなら、難しく考えて悩まずに、まずは挑戦して欲しいと思います。



附属東西医学 統合医療センター

東西医学統合医療センターは、東洋医学（漢方・鍼灸）と現代医学の治療を効果的に統合して提供することのできる国立の大学附属診療施設として、1992年4月に設立されました。2011年度には、リハビリテーション科も開設されました。

- 鍼灸学・理学療法学専攻の卒前教育
- 鍼灸師・理学療法士の技術とキャリア支援研修
- 特徴のある臨床の実践による地域医療への貢献
- 東西医学の科学的な研究



STAFF

教授

平山 暁
HIRAYAMA Aki

准教授

櫻庭 陽
SAKURABA Hinata

助教

杉田 洋介
SUGITA Yosuke

助教

木村健作
KIMURA Kensaku

助教

成島 朋美
NARUSHIMA Tomomi

卒前臨床教育

鍼灸学専攻の学生は、医師外来、検査室での見学実習、および、鍼灸施術所での臨床実習を通し、医療現場に触れるとともに鍼灸臨床の実際を総合的に学んでいます。

理学療法学専攻の学生は、本センターで初歩的な臨床教育を受けた後、個別に学外の医療福祉機関で実習に臨みます。

鍼灸師研修制度

鍼灸師の免許を取得した方を対象に、卒後臨床研修を行う制度があります。教員と鍼灸診療グループを構成し、見学から始まりほぼ独力での施術にいたるまでの臨床研修を行います。本学の卒業生を含む出身校の異なる研修生や、現役の盲学校教員が共に切磋琢磨しながら、研鑽に励んでいます。



理学療法士卒後教育

理学療法士免許を取得した卒業生が、本学契約職員として一定期間在籍し、本学教員の指導を受けながらチーム医療に参加することで、知識・技術・態度などの臨床実践力を高める環境を提供します。



附属図書館

附属図書館には、専門図書だけでなく様々な教養図書があり、図書の種類も通常の活字図書に加えて点字図書や、DAISYなどの録音図書、拡大文字図書などがあります。閲覧室は、歩きやすいように通路が広く、間接照明や手元灯、拡大読書器が整備され、視覚障害者が利用しやすいように配慮されています。図書館内には、スクリーンリーダーや画面拡大ソフト等、視覚障害者に配慮した環境を備えたパソコンが各所に配置されています。図書検索や情報検索の他、全国の点字図書館などが参加して情報サービスを行っている「サピエ」の利用ができます。また、対面朗読室では、朗読ボランティアによる朗読サービスが受けられます。共同学習室と閲覧スペースの一部は週7日・24時間開いており、インターネットの利用やレポートの作成をすることができます。



保健管理センター

本学には、学生の心身の健康を保持・促進するために保健管理センターが設置されています。学生生活の基本は心身の健康です。保健管理センターは、それぞれの視覚障害からくる問題を適切にコントロールして、身体的にも心理的にも安定し充実した毎日が送れるように支援します。

定期健康診断の他、応急処置や各種医療機関の紹介、学修や生活面でのいろいろな問題についてカウンセリングを行っています。特に眼の健康管理については近隣の大学病院や眼科医と連携体制をとってあたっています。

STAFF

眼科校医
(非常勤)

臼杵 祥江
USUKI Yoshie

看護師

吉田 富貴子
YOSHIDA Fukiko

カウンセラー
(非常勤)

竹田 祐子
TAKEDA Yuko

カウンセラー
(非常勤)

佐藤 真紀
SATO Maki



Cross Talk

学生座談会 筑波技術大学の学生生活！

—今日は時間を取ってくれてありがとうございます。それでは、オンライン座談会を始めたいと思います。

一同 よろしくお願ひします。

—まずは自己紹介からお願いしたいのですが、どなたからでも。

(一同沈黙の後…)

近藤 誰でもいいの？じゃあ、僕からいこうかな。保健科学部鍼灸学専攻の近藤凌也です。私は全盲で、光を感じる程度です。体を動かすことが好きでブラインドサッ

カーをやっています。他にはギターとウクレレを弾くのが趣味です。

斎藤 理学療法学専攻の斎藤輝翔です。僕は弱視で、一般高校出身です。これまではバレーボールをやってきましたが、大学では障害のある人もない人も一緒に楽しめるスポーツをやっています。でも今はコロナ禍のため活動が制限されています。趣味は絵を描くことです。

黒木 情報システム学科の黒木梨瑚です。私は点字ユーザーで、学科の勉強以外にも、高校の情報の教員免許取得を目指した科目も履修しています。私は趣味が多くて、スポーツや音楽、読書など、いろんなことが幅広く好きです。よろしくお願ひします。



近藤・斎藤 よろしくお願ひします。

一皆さんが、筑波技術大学や所属する専門を選んだ理由やきっかけは何ですか？

黒木 じゃあ、次は私から。私は高校生の頃に情報の科目を履修してプログラミングのことを学んでいくうちに、もっと深く学びたいと思うようになりました。私の母校や地元では大学に進学する事例があまりなくて、私が大学に行くことを決めた時には結構反対もされたんです。だからこそ、後輩のためにも私は大学に行くんだっていうのを決めて、また、自分の経験や挑戦っていう意味を込めてこの分野に進むことを決めました。それで、自分が学びやすく楽しんで大学生活が送れる場所はどこかなと考えた時に、やっぱり筑波技術大学は設備も整っているし、一人一人にアドバイザーの先生がついて下さってすごく安心だなと思ったのと、それと昔から教員になりたいと思っていたこともあったので、情報の教員免許がとれるこの大学に決めました。

斎藤 シンプルだけど、意外と難しい質問かも(笑)。僕は、スポーツで怪我をした時に理学療法士さんのお世話になったことがあって、その姿に憧れたのがきっかけです。僕も元々視覚障害があるので、筑波技術大学で理学療法士になるための勉強をしたいと思いました。

近藤 僕の場合は、同じ中学校の先輩が筑波技術大学に行っていて、その話を中学校の先生から聞いたのがこの大学を知ったきっかけでした。僕が鍼灸学専攻を選んだ理由は、小さい頃から生物が好きだったし、子どものころは身体が弱くていろいろな方に助けもらったので、自分も将来は人を助けたいなという気持ちがありました。他の学校もいろいろ見学したなかで、筑波技術大学の設備や勉強環境が本当に整っていたので、この大学に決めました。

一皆さんが入学する直前に、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが起こり、日本でも感染が拡大したために、予想も経験もしたことがなかった状況におかれたかと思います。入学してからこれまでの間、どのように学生生活を送ってこれたかを教えていただけますか？

近藤 そうだなあ、まず一年目のことから話そうかな。僕は受験の時にはこの感染症のことを全然知らなくて、情報が入りだしたのが、高校を卒業する1、2か月前で、大学に行くまでにはきっと何とかなるんじゃないかな?、と思っていたんだんだけど。でも感染者はどんどん増える

し、大学では授業が遠隔で行われることが決まって、そこからが大変だったよね。自宅に骨の模型や資料がたくさん届いて。そんな経験は初めてだったからね(笑)。

黒木・斎藤 だよな〜(笑)

近藤 1年生のときは、自宅からインターネットを使って遠隔授業を受けてたんだけど、遠隔授業用のパソコンソフトとかは全然使ったことがなかったから、どうしたらいいか全くわからなくて。遠隔授業用のソフト上にさ、各授業の部屋が作られてるでしょ?最初はそこに入るだけで30分ぐらいかかったよ。いろんな先生のお世話になって、パソコンの使い方、ソフトの使い方を覚えて、徐々に遠隔授業には慣れたけど、次は授業内容が難しくなってくるし…(苦笑)。

黒木・斎藤 うんうん。

近藤 手で触らなきゃわからないこと、自分の身体を動かしてみないとわからないことがたくさんあるんだけど、遠隔だと質問もしづらいから、その点は苦労したなあ。

斎藤 僕も同じ医療系ということで近藤さんと似ているけど、1年生の時は高校生で勉強したことの応用や、初めて学ぶ医療系の基礎科目を遠隔授業で身につけなきゃいけないっていうのが一番難しかったかな。1年生でやるはずの実習もできなかったのが残念だった。

黒木 私は、情報システム学科を専攻したけど、そんなにパソコンができるわけでもないし、プログラムが書ける知識はなかったから、最初はすごく不安だったの。オンラインでは質問や発言がしづらいというのを感じていたから、なかなか質問ができなくて、自分だけが取り残されていくんじゃないかという不安とかいろいろあってさ。先生方からは授業時間外にも個別の対応もしていただいて、手厚くサポートしてもらったので、学んでこれたかなって思う。

斎藤 そうだよな。

黒木 私にとって一番しんどかったのは教職課程の科目で、教員は、生徒の顔とか雰囲気とか、空気感を大事にしながら授業を進めていくものだっていう考えを持っていたから、そういった空気感を感じるのが難しい遠隔授業で教職科目を学ぶことに違和感があったのね。もちろん先生の言っていることや学ぶ内容は伝わってはくるんだけど、対面だったらもっと違うものが伝わったんじゃないかなって思ったし、対面授業が始まるのが待ち遠しかったな。

斎藤 わかるよ。

近藤 それで、いよいよ2年生になって、初めて大学に来て、これまで声しか聴いたことがなかった先生と実際に会ってみると、自分がイメージしていた背の高さや体つきと同じだったり、違ってたりして。やっぱり直接人に会えるのはすごく嬉しいね。

鍼灸は実習系の授業が多いから、多くは講義室や実習室での対面形式で、一部遠隔授業形式なんだけど、対面授業形式は聞きやすいなあって感じたなあ。

斎藤 だよな〜。理学も同じ感じなんだけど、対面授業は聞きやすいよね。鍼灸もそうだと思うんだけど、2年生になるとより専門的な内容の科目が始まるじゃない？専門の科目は特に対面がいいなって思うよね。あと、僕の場合は、ようやく学外実習にも行けたから本当にほっとしたよ！

黒木 私はオンラインと対面の組み合わせなんだけど、対面は質問もしやすくていいよね！

―本学の情報補償について教えていただけますか？

黒木 1年生の遠隔授業が始まる前に、自宅にインターネット環境がない人にはインターネットを利用するためのモバイルルーターを、パソコンがない人にはパソコンを、大学が貸し出してくれたんだけど、これはかなりありがたかったなあ。授業資料についても、ある授業では3Dプリンターで作った模型とか触図が郵送で届いて。オンラインの中での不安もあったけど、やっぱり触ると理解しやすいので、そういう情報補償はありがたかったわ。

近藤 それ以外にも、たくさんの解剖模型を先生が自宅に送ってくださって。模型っていうのは、全身の骨の模型とか、腕から手にかけてとか脚だけのとか、全身各所の模型なんだけど本当にいろいろでさ。模型があると立体で学べるっていうのもあるんだけど、自分の身体に合わせたり比べたりしながら勉強できたのが助かったな。他に、触図もたくさん送っていただいたし。オンラインの環境でも学びやすかったなって思う。

斎藤 僕も解剖学は、立体の人体構造の話だから、平面的な紙の資料だけではどうしても捉えにくいところがあるんだけど、模型があったおかげで勉強しやすかったなって思う。2年生になって大学に来てからのことだと、教科書はもちろん自分で買うんだけど、これらの教科書を電子化したデータをiPadとかそういう端末でも見れるようにしてくれてからすごく助かったな。小さい文字も簡単に拡大して読む事ができるし。教科書は一冊一冊が分厚くて重いんだけど、データをiPadだけで持ち歩けるのは便利だよな〜。

黒木・近藤 うんうん、うんうん。

黒木 情報システム学科でも、全ての授業資料をパソコン用の電子データでもらっているんだけど、ある授業で、授業資料を「一人ずつ声を出して読んでください。」ってなってさ。でね、電子データの資料を読み上げるのは

難しいって伝えたら、点字資料が段ボールいっぱい届いて(笑)。家には、高校の教科書とかが既に山積みになっていたから、家の中が教科書まみれになっちゃって(笑)。

近藤 そうそう！これをまた大学に持って行くのかあ〜！、ってね(笑)。

一同 (笑)

黒木 でもすごくありがたかったな。他には、解剖学で言うところの人体模型は、情報学で言うキーボードとかの配列とかになるので、すごく重要なんだけど、パソコンによって形とかキーボード配列って違うのね。私は元々持ってた自分のパソコンで講義を受けてたんだけど、自分が使ったことがないキーを押してくださいって言われても、それがどこにあるかわからなくて。「それどこですか？」って、質問しても、先生も私のキーボードがどんな配列なのかがわからない(笑)。だからキーボードの写真を撮って、それを先生に送って、キーの場所を聞いたり相談したりとか、すごくやったよ。

―授業以外の大学生活についても教えていただけますか？

近藤 大学に来てみて、授業以外にも覚えることが多かったなあって思う。自分の身の回りのことをいろいろやらなきゃいけないし。体調を崩すこともあるしさ。弱視の友達と二人でスーパーに行くのに3時間ぐらい道に迷ったことがあってね。スマホのナビ機能も使ったのに、午後3時に出発して帰ってきたのが夜8時でさ、あの時は本当に大変だったよ〜！

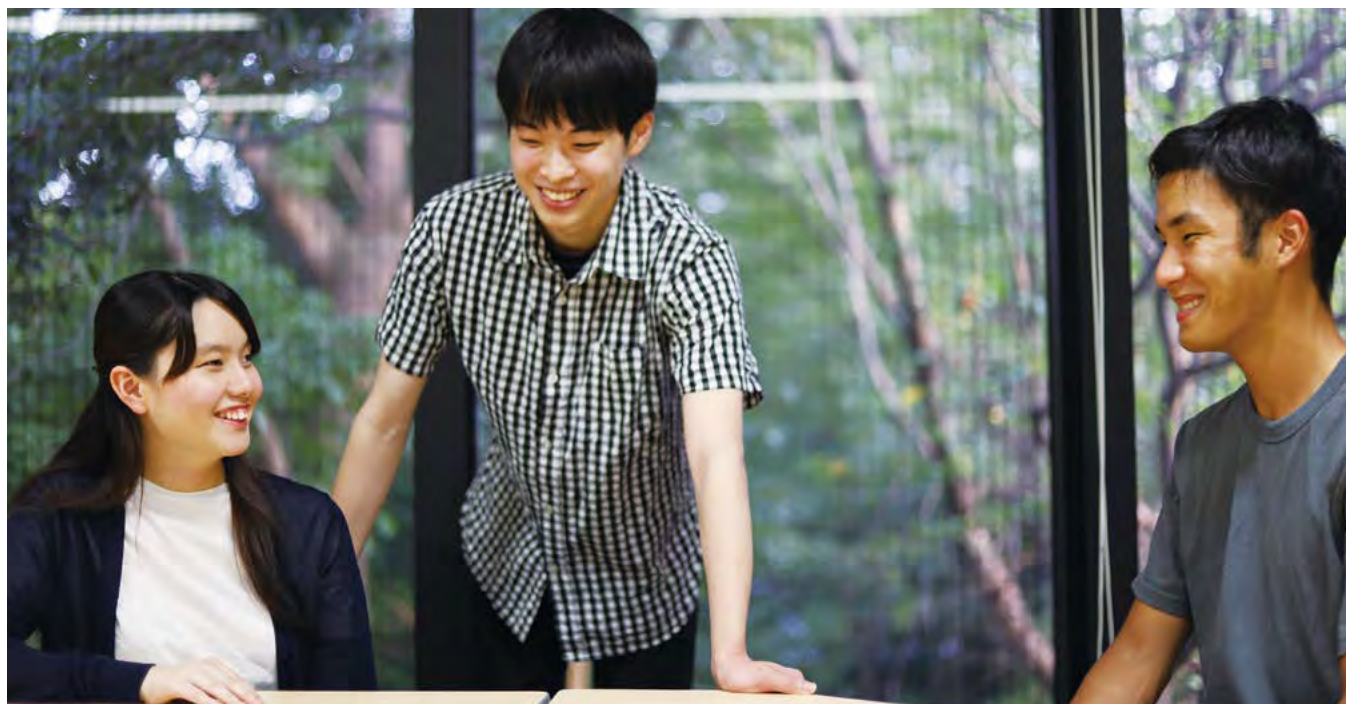
斎藤 初めての一人暮らしは大変なこともあったと思うけど、それでも慣れてくるもんだよね(笑)。

黒木・近藤 そうだね〜。

斎藤 僕の場合だと1ヶ月くらいすると、あれこんなもんなかな？、って感じで慣れてきて、完璧ではないんだけど、いろいろできるようになってきたなって感じたかな。

黒木 一人暮らしの不安はあったけど、自炊するのは元々好きだったから、最近ではいろいろな料理を作って楽しんでるんだよ。

近藤 僕は、自分に料理なんてできるのかな？ってぐらい料理をしたことがなかったから、自炊はどうしようかなあって思っていたんだよね。でも友達が自分で料理するって言うから、じゃあ自分も簡単なものからやってみようと思ったんだよ。最初は、スーパーで野菜炒め用のカット野菜を買ってきて、それを炒めるところから始めて、だんだんとお肉も焼けるときの音とか匂いとかでうまく焼けるようになってきてからは、いろいろな料理をするようになったよ。



黒木 おいしくできると、すごく嬉しいよね〜♪

近藤 親にまでびっくりされたね。「そんなにできるものなの？」って(笑)。親元にいた時はやらなかったし、やる機会がなくてやらなかったから、できなかった。いざ一人暮らしを始めたら、やらなきゃどうにもならないじゃない？レトルトとかばかりに頼るのも体に悪いかなって思うし、自分で料理した方がおいしくできるしね。

斎藤 一人暮らししたから成長できたところはいっぱいあったと思う。一人暮らしだとやらなきゃいけない家事は多いけど。

近藤 学食がコロナの影響で営業を中止したのも、大きかったな。

斎藤 そうだねー。利用する気満々で入ってきたのに！(笑)

黒木 私も食堂でみんなと食べる気満々だったのに、え？ないの〜？って！(笑)

近藤 そうなるともう、自炊するしかない(笑)。

*大学の敷地のすぐ裏にコンビニエンスストア、徒歩5分圏内にスーパー、コンビニエンスストア、レストラン等があります。

斎藤 僕は、大学の外のアパートを借りて住んでるんだけどね。寮でも良かったんだけど、やっぱり一人暮らしへの憧れがあって(笑)。勉強がんばるから一人暮らしさせてください!!!って、頼んだ(笑)。実際にこっちに来るまでは何か月も前から本当に緊張して、あれやこれや色々考えていたんだけど(笑)、僕の場合ある程度見えるし、元々自炊してたこともあるし、洗濯も、掃除も、そんなに難し

くなかったかなって思う。もちろん、やりながら勉強が必要なこともあるけどね。いきなり一人になったのでホームシックになるんじゃないかとか思ったんだけど、意外と大丈夫で(笑)。週に何回か実家に連絡入れていれば、そんなに淋しくもないし(笑)。友達ができると、勉強する時も夜遅くまで一緒に勉強できるしね。あと、夜遅くに一人で外を歩いてるってのも新鮮で刺激も多いから、不安も感じなくて済んだように思う。

近藤 僕は寄宿舎に住んでいるんだよね。何で寄宿舎を選んだかっていうと、大学の敷地内にあって近いか。教室に行くのが楽になって思ったんだよね。最初はやっぱりやるのがすごく多かったなあ。寄宿舎はユニットという単位に分かれていて、フロアを6人共同で使うんだけど、みんなで使う台所や洗濯置き場、それと、個室があるじゃない？まず自分の部屋の中のレイアウトを決めるところから始まって、決まったら決まったで、場所を覚えたりするのに結局1週間ぐらいかかったかな。なんだかんだ言っても、すごく困ったとしても一人でどうしようもできないことはなかったし。物の管理は大変なんだけど、慣れたな。僕もホームシックになるかと思ったんだけど、そんなに淋しくなかったよね、週に何回かは連絡としてはいるけど。

黒木 私も寄宿舎に入ってるんだけど、物の配置とか、管理っていうのは最初はやっぱり難しかったし、時間がかかったんだけど、先輩たちが優しくていろいろ教えてくれたからすぐに慣れることができたかな。食費のやりくりって親元にいるときはちゃんとしたことがなかったんだけど、それを自分で全部するようになった時にすごく不安だった。使

いすぎちゃったってこともあったし、逆に使い過ぎに気をつけたら食べるものがなくなったりとか(笑)。そういうのが最初は難しかったなあ。

近藤 お金の管理って言ったら、最初は銀行に行ってお金をおろすとか、そんなのやったこともなかったし。計算してみたら、まだ余裕があるとか、使い過ぎたとか。寄宿舎の共益費とかそういうのももちろん管理したことなかったから、親に聞きながらいろいろやって慣れていったかなあ。管理するのはね、自分だからね、自制しないとどんどんお金が飛んで行っちゃう(笑)。自分に厳しくしないと。

一同 わかる〜〜(笑)。

黒木 お金の管理とか、銀行での手続きのしかたとか、ああいうのって大学来る前に慣れておくと良かったなとかって思うこと、結構あるよね。

近藤 生活の管理のしかたについてもいろいろ情報をもっておくと、後から苦労しないかな。シミュレーションして、練習してって感じで。

斎藤 実際一人暮らしを始めてからだと、勉強もあるし、いっぱいいっぱいになるからね〜。

—平日・休日含めて、余暇の過ごし方について教えてくださいませんか？

近藤 勉強以外のことだと、そうだなあ。友達と近くのおいしいお店に行って喋ったり、他には楽器を弾いたり音楽を聴いたりもするんだけど。とはいえ、友達と話す時はオンラインで話すことが多いかな。ブラインドサッカーのサークルにも入ってるんだけど、今はサークル活動ができないので、自分で筋トレしたりしてるよ。

斎藤 サークルができなくて、身体を目いっぱい動かさないのはちょっとつらいよね〜。出かけて騒ぐこともできないから、買い物に行ったりとか、ちょっとおいしいもの食べに行ったりとかしてるけど。同じゲームを持ってる人とだと、通信で一緒にゲームやったりとか。自分だけで過ごす時間もあるって絵を描いたりネットで映画を見たりとか、かな。

黒木 趣味はいろいろあるんだけど、音楽も好きで歌ったりすることも好きだから、すごくカラオケに行きたいんだけど、なかなか難しい状況で(苦笑)。やりたいことはあるけど、今はできることが制限されてるよね。その中でもできるだけ気をつけながら友達と楽しんだり、料理とかお菓子とか作ったりしてるかな。

—大学があるつくば市ってどんなところですか？

黒木 うちの大学があるっていうのもあるし、結構都会?っていうのもあって、視覚障害者に対する理解が結構深いのかなって、思います。白杖を持って点字ブロックがないところを歩いていると、知らない人でも声をかけてくれたりして。一人一人がすごく温かいっていうか、優しいなって感じる。大学の周りに街灯が少ない場所があったり、道がなくなっちゃったのって思うほど、歩道の段差が高いところがたまにあるのはちょっと不安かな。

斎藤 視覚障害者に対する配慮がすごいなあとは僕も思う。地元と比べるとバスも電車も交通の便が格段に良い上に、障害者手帳を見せると運賃が半額になったり無料になるところが多いから、すごく驚いたよね! 東京都内と行き来するなら、つくばエクスプレスもあるし高速バスもあってすごく便利だし。僕も人が優しいとは思って、筑波大学の学生さんに一度助けてもらったことがあるよ。

近藤 大学から裏のコンビニの入り口まで点字ブロックが敷いてあって、そのコンビニも近くのスーパーも、店



員さんに声をかけると、買い物からレジ打ちまで全部手伝ってくれるのは、ほんと助かる。

僕としては、自然がたくさんあって、空気がおいしいのも嬉しいかな。秋に落ち葉がたくさん落ちると、点字ブロックが隠れるでしょ？どこを歩いているのかわからなくなって一回草むらにつっこんじゃったことがある(笑)。

黒木 私も1度ある～！(笑)。あれはちょっと怖かったなあ(苦笑)。

斎藤 地元からすると十分都会なんだけど、都会のようなそっけない感じはなくて、温かくて、暮らしやすく、田舎特有というか一種の地元感みたいなものあって、結構驚いたよね。

黒木 うん、それ、わかる(笑)。

**一みなさんは将来どんな仕事をしたいと思ってますか？
夢や目標に向かって、今、何をがんばっていますか？**

黒木 まだはっきり決めてはいないんだけど、情報の教員になるか一般企業に就職したいって考えています。教員になるにしても、まずは一般企業に就職して、いろんな経験を積んで、その経験を持った上で教員になりたいの。だから幅広いいろんな知識を持ってなきゃいけないから、今は、専門科目の勉強や資格取得に一生懸命取り組みながら、教職科目の勉強を両立しようってがんばってます。

近藤 僕は、社員さんを対象にマッサージや鍼灸をするヘルスキーパー(企業内理療師)の仕事につきたいなと思っているので、とにかく今、大学で学んでいる全てのことを一生懸命に勉強しています。覚えなきゃいけないことがとにかく多いので、一つずつゆっくり覚えて基礎固めをするなど工夫しながら勉強しているかな。実技系の科目は、自分の身体で覚えるまで何度も練習して叩きこんでる感じ。

斎藤 僕の場合は、もちろん理学療法士なんだけど、理学療法の中でもいろんな専門分野があるから、自分が今どの分野に行きたいかはまだわからないんだけどね。これからいろいろ勉強していくうちに、進みたい分野が見つかればいいかなって思ってます。前回の実習では小児リハビリテーションを見てきたんだよね。他にも神経系や整形外科のリハビリテーションもあるし、動物のリハビリテーションっていうものもあるんだよ。今は、まず国家資格を取るために日ごろの勉強をひたすらがんばるしかないかなって考えています。

黒木 理学も鍼灸も、国家資格取得してっていう大きな目標があるよね。情報システム学科は、保健学科のように卒業までに必ず取得しなければならない資格っていうのはないんだけど、情報系の国家資格っていうのがいくつかあるの。資格があると就職する時に有利かなと思って“ITパスポート(情報系の国家資格の一つ)”の資格をとるための勉強をしてるよ。

一最後に、これから筑波技術大学を目指す人たちにメッセージをお願いします。

近藤 筑波技術大学は、学内設備も支援体制も整っている上、楽しく過ごせる大学です。皆さん、私たちと一緒に楽しく充実した大学生活を送りませんか？

斎藤 入試の際は、問題をよく読み、面接官の質問をよく聞いて、それに対し適切に答えられるよう尽力してください。当たり前のことのようにですが、案外できなかったり、緊張で難しくなることもありますので、意識してがんばってみてください。応援しています！

黒木 本学はカリキュラムが豊富な上に、サークル活動も充実しています。私たちと多くのことを学び、充実したキャンパスライフを過ごしましょう！

鍼灸学専攻3年
近藤 凌也さん
KONDO Ryoya

[出身]
横浜市立
盲特別支援学校



情報システム学科3年
黒木 梨瑚さん
KUROKI Riko

[出身]
宮崎県立
明星視覚支援学校



理学療法学専攻3年
斎藤 輝翔さん
SAITOH Kento

[出身]
山形県立
鶴岡中央高等学校



私は現在……

筑波技術大学で培った ホスピタリティ

筑波技術大学

大学院 在学

井上 萌美さん

INOUE Moemi

2019年度
鍼灸学専攻卒業



小さい頃から医療に関わる仕事に興味があり、また、中学の頃はスポーツトレーナーになりたいと考えていましたが、低下して行く視力と、自分の夢との間で悩んでいたところ、当時の高校の部活の先生から理療科に行くことを勧められました。これがきっかけとなり鍼灸に興味を持ち、この道に進む事を決めました。学生生活では、大変なことも多々ありましたが、それも含めてとても充実した時間を過ごすことができました。なかでも友達と楽しく過ごす時間が、私にとって一番幸せな時間でした。「楽しく勉強をしよう」をモットーに経穴の替え歌を作って大笑いしながら勉強した事が今でも心に残っています。東西医学統合医療センターで、医師の診療の見学や、鍼灸の患者さんの診療補助で勉強出来たのは技大ならではの特権でした。これら学部での充実した経験があったからこそ、もっと勉強して、人の役に立つ人になりたいとより一層強く思うようになったのかと思います。学部卒業後は、筑波技術大学の大学院に進学し、現在、音声ユーザーのための東洋医学用語解説教材の開発研究に従事しています。鍼灸を含む医学領域は専門用語が多く、視覚障害者にとって学習が難しい側面があります。自分自身が学部生の時には、タブレット端末を使った学習ツールがあったのですが、それは弱視者向けで、音声ユーザーが使うには難しいものでした。このような私自身が苦労した経験をもとに、音声ユーザーにも使いやすいツールを開発し、後輩たちにもより良い学習環境を提供しようと思い、現在日々頑張っています。

大学院卒業後は、障害者リハビリセンターで治療家として働く予定です。患者さんに寄り添いながら、貢献していきたいです。

複数の国家資格を活かして スポーツと医療現場で活躍

筑波技術大学附属

東西医学統合医療センター 勤務

工藤 綾乃さん

KUDO Ayano

2020年度
理学療法学専攻卒業



私は理学療法士と鍼灸あん摩マッサージ指圧師の国家資格を持っています。はじめは鍼灸あん摩マッサージ指圧師として訪問診療に携わっていましたが、次第に理学療法士に興味を持つようになり、新たな挑戦を決意して筑波技術大学に入学しました。理学療法学専攻では大学での講義に加えて学外医療機関での臨床実習が必修なのですが、私が上級生の時は全国的に新型コロナウイルス感染症が蔓延している状況で、私がお世話になった医療機関でも感染対策を徹底しながら臨床実習の指導をして頂きました。

学生時代はスポーツサークルにも積極的に参加しました。なかでもブラインドサッカーに熱中し、女子の日本代表にも選出されました。この競技は選手同士が激しく接触するため怪我が多く、大学で学んだ救急処置やスポーツ理学療法の知識がとても役立ちました。スポーツを通して出会った大学の仲間たちや社会人の方々とのつながりは私の大切な財産です。いまでも代表選手としてプレーし続けていますが、いずれは鍼灸・マッサージによるボディーケアと専門的なリハビリテーションでパラアスリートをサポートする立場になりたいと考えています。

現在は、大学附属医療センターのリハビリテーション科で在学中に教わった教員の先生方と共に診療業務を行ないながら理学療法士としての基礎的な研修を受けています。日々の業務では、患者さんに対する診療以外にもカルテ記録やカンファレンス(症例検討会議)があり、そこでは文章作成能力、プレゼンテーション能力が求められます。さらに毎週末の勉強会では最新論文の調査や先生方の研究活動に触れることで刺激を受けています。この環境で自分自身の知識・技術を磨き、将来は総合病院やリハビリテーション病院に勤務して、様々な病気や障害をもつ方々のお役に立てたら嬉しいです。

スキルアップをしながら 社会にも会社にも貢献したい

京セラコミュニケーション

システム株式会社 勤務

星野 隼人さん

HOSHINO Hayato

2018年度
情報システム学科卒業



私は現在、通信キャリア様のキャッシュレス決済に関連したシステム設計から開発までを主に行っております。設計とは、お客様の要望を聞き出し、それが実際に動いた時にどのような動作をするかを確認し、1つ1つをデータとしてまとめる業務です。開発とは、文字通り、お客様から承認をいただいた設計書をソースコードに起こす業務になります。どちらの業務も大きな責任があり大変ですが、それ以上にやりがいを感じられます。

そんな私ですが、大学時代は特にやりたいことが見つからないまま、「情報システム学科」に入学しました。しかし、そこからプログラミング知識の習得、楽しさの発見、作業効率が良くなるキーボード操作やツールなど、多くのことを学びました。また、クラスメイトとの交流も多く、講義で課された課題を、お互いに切磋琢磨しながら行いました。その甲斐もあって、今の担当業務でもそれが活かされ、根気強くプログラミングができています。

私が所属している京セラコミュニケーションシステムは、大学で習得したプログラミングスキルを活かせる「SE(システムエンジニア)」の採用を行っていて、職場全体で視覚や聴覚の障がいに対する知見がとても深くあり、障がい者1人1人の症状に合わせた手厚い支援があるところに惹かれ、入社を決めました。

採用面接の際に、自分の「見え方」を上手に説明できるようになったのは、大学で学んだ賜物ですし、その説明をしっかりと理解してもらえたのは、今の会社だからこそだと思っています。これからも、自分のスキルアップとともに、社会にも、そして会社にも貢献できる人材になっていきたいと思っています。

Campus Life

キャンパスライフ



学生寄宿舍



女子専用棟を含めて、学内には、現在4棟の学生寄宿舍があり、希望する学生のほとんどが入居できます。ここでの生活は、学習をはじめ、学生間の交流を深め自立した生活経験を養う場でもあります。4室または6室の個室がまとまって共同生活の単位である「ユニット」を構成しています。ユニットには、簡単な自炊ができるコーナー、洗濯室、トイレなどの共用設備があります。個室には内線電話もあります。また、構内のどこでも無料のWi-Fiが利用できます。

学園祭

様々なバンドが演奏を披露するメインステージ



保健科学部では、毎年秋に学生団体や学生有志の企画により、学園祭の「春日祭」が開催されています。芸達者な学生たちによる、演舞やコンサートなどの発表があります。一般の方が対象の「点字教室」が開かれたこともあります。学生による本格マッサージ「極楽堂」は毎年好評です。

ブラインドサッカーサークル



サークル活動

4年間の学生生活は、専門の学習ばかりでなく、友人を得たり教職員との交流を深めたりする場でもあります。サークル活動は、個人の趣味を生かし、学生生活に潤いを与え、有意義なものにします。

体育系サークルとしては、フロアバレーサークル、ブラインドサッカーサークルなどが活動しています。文化系サークルにはあんまどうーなどがあります。



陸上競技大会

スポーツ

サークルや大会参加などで結果を残すことも大学生活の楽しみのひとつです。ブラインドサッカーでは代表選手に選ばれる卒業生や在校生もいます。



フロアバレーサークル



International Exchanges

国際交流

海外研修

アメリカ

アメリカ研修は、主に理学療法学専攻の学生が、アイオワ大学にて1週間程度学習するものです。実際の授業を体験させて頂いたり、最先端の研究を行う現場を見学させて頂いたりします。

アイオワ大学の理学療法学科長から研修修了証書を頂きました。



現地の学生さんとのコミュニケーション



アイオワ大学理学療法学科の授業に参加しました。

海外研修

オーストラリア

オーストラリア研修は、主に鍼灸学専攻の学生が、シドニー工科大学にて研修を行うものです。講義の受講や、大学附属クリニックの見学を行います。附属クリニックでは実際の臨床実習を受ける機会もあります。



海外研修

中国

中国研修へは、主に鍼灸学専攻の学生が参加します。吉林省中医科学院第一臨床医院、北京按摩病院、北京中医薬大学附属護国寺中医医院等を見学しました。参加学生にとって、日本と中国との鍼灸マッサージや文化の違いについて理解する貴重な機会となっています。



見学先の北京按摩病院にて



エキスカッションでのカヤック体験

ヨーロッパの海外研修には、およそ15ヶ国から50人以上の学生と40人以上のスタッフが集まります。共通言語は英語です。

海外研修

ヨーロッパ

ヨーロッパ研修では、欧州各国から視覚障害のある学生たちが集い、10日間生活を共にするサマーキャンプICCに参加します。期間中は英語で行なわれるワークショップやレクリエーション、エキスカッションなどが行われます。



スポーツを通して交流を深めることも。

本学の前身である筑波技術短期大学の頃より常に世界に目を向け、障害者の高等教育の発展に努めてきました。特に諸外国の障害者のための大学や高等教育を支援する諸機関と積極的に交流を行い、現在以下の大学や機関と交流協定を結んでいます。

1992年	ロチェスター工科大学国立聾工科大学 (アメリカ合衆国)	2004年	北京連合大学 (中華人民共和国) 長春大学 (中華人民共和国)
1999年	ニューヨーク州立大学バッファロー校 (アメリカ合衆国)	2005年	韓国ナザレ大学 (大韓民国)
2001年	ヨハネスケプラー大学視覚障害大学生支援大学間共同情報システム機構 (i3s3) (オーストリア共和国)	2007年	韓国国立特殊教育院 (大韓民国)
2003年	国立韓国福祉大学 (大韓民国) 天津理工大学 (中華人民共和国)	2008年	バウマンモスクワ州立工科大学 (ロシア連邦)
		2009年	韓国障害者雇用促進公団 (大韓民国)
		2013年	アイオワ大学 (アメリカ合衆国)
		2015年	マヒドン大学ラチャスダカレッジ (タイ王国)

入学案内・各種費用

受験に関して

入学資格(条件)は、大学入学資格(特別支援学校高等部や高等学校を卒業した者等)のほか、両眼の矯正視力がおおむね0.3未満であるか、0.3以上であっても視力以外の視機能障害が高度(拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難)であるか、将来視力低下や視機能低下のおそれがある場合となっています。

受験相談

受験相談及び受験希望者の施設見学は随時行っています。また、大学説明会・オープンキャンパスを実施します。いずれも裏表紙の問合せ先[入試関係]にお申込みください。

学生募集

2023年度入学者選抜の詳細については、「2023年度学生募集要項」(大学ホームページにて8月上旬公表予定)を参照してください。また、6月上旬に入学者選抜の方法等を記載した「入学者選抜要項」を公表予定です。詳しくは、裏表紙の問合せ先[入試関係]にお尋ねください。

学費等

入学料 282,000円

授業料 年額535,800円

寄宿料 A・B・C棟 年額60,000円
..... D棟 年額78,000円

寄宿舎共益費 A・B・C棟 年額168,000円
..... D棟 年額192,000円

※在学中に授業料・寄宿料の改定が行われた場合は、改定時から新たな授業料・寄宿料が適用されます

入学料・授業料免除制度

2020年度から国の「高等教育の修学支援新制度」が実施され、本学も対象校として認定されました。これとは別に、本学では次のような入学料・授業料免除等制度を用意しています。

免除の種類	免除申請の区分
入学料免除	
授業料免除	経済的な理由による免除
	災害等による家計急変の免除
	社会人として入学した場合の免除
	私費外国人留学生である場合の免除

所得基準や成績基準等の詳細については、本学HPにてご確認ください。また、成績優秀者並びに学長表彰者に対する授業料免除制度もあり、学生の勉学の向上及び優秀な人材の輩出の一助としています。

●本学HP:

<https://www.tsukuba-tech.ac.jp/education/expenses/exemption.html>

●文部科学省 国の高等教育の修学支援新制度:

<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

奨学金制度

日本学生支援機構奨学金

優秀な学生で、経済的理由により修学が困難な場合には、日本学生支援機構の選考により奨学金が貸与されます。奨学金は、第一種奨学生(無利子)、第二種奨学生(有利子)があります。

その他の奨学金

地方公共団体、各種法人等が募集する奨学制度があり、内容等は日本学生支援機構とほぼ同様です。

〈参考〉2021年度入学者選抜実施状況

選抜方法	試験期日
学校推薦型選抜	2021年 11月20日(土)
社会人選抜	2021年 11月20日(土)
総合型選抜	
第一回	2021年 10月16日(土)
第二回	2022年 1月22日(土)
一般選抜(前期日程)	2022年 2月25日(金)

保険

授業中や課外活動中に発生した事故によって、身体に傷害を被った場合に補償する「学生教育研究災害傷害保険」と、授業中や課外活動中などで起こった学生の賠償事故（他人にけがをさせたり、財物を破損させたりした事故）に

ついて補償する「学研災付帯賠償責任保険」があり、本学ではこの保険制度に賛同し、入学時に全員が加入するよう勧めており、基本保険料（特約を除く）は本学が負担しています。

保健科学部へのアプローチ

- 電話で照会（裏表紙参照）：受験相談等願書の入手
- 春日キャンパスの見学：月曜日～金曜日（祝祭日除く）9:00～17:00
- インターネットで情報収集：学科・専攻の情報、オープンキャンパス等の情報
ホームページ <https://www.tsukuba-tech.ac.jp/>



OPEN CAMPUS 2022

下記実施日程等詳細については、別途実施案内（本学ホームページ等）を作成しますのでご確認ください。参加を希望する場合は、事前に裏表紙の問合せ先[入試関係]にご連絡ください。

| オープンキャンパス 筑波技術大学(春日キャンパス)

第1回（授業公開） 7.22 [金] 10:00-16:00

第2回（体験授業） 8.20 [土] 10:00-17:00

第3回（体験授業） 9.18 [日] 10:00-17:00

| オンライン大学説明会 （学部、学科・専攻の説明と個別相談）

第1回 5.16 [月] 14:00-16:00

第2回 6.18 [土] 14:00-16:00

| オンライン受験相談会 （個別相談のみ）

第1回 9.18 [日] 13:00-17:00

第2回 2023.3.21 [火] 10:00-16:00

学園祭における入学相談会 未定

ACCESS MAP





鉄道

つくばエクスプレス「秋葉原駅」からつくば行きに乗車、「つくば駅」で下車。(快速45分)

つくば駅隣接(A3出口)の「つくばセンター」(6番のりば)から「筑波大学中央」行き又は「筑波大学循環(右廻り)」バスに乗車、「平砂学生宿舍前(統合医療センター)」で下車(約10分)、徒歩3分。

JR常磐線「土浦駅」又は「ひたち野うしく駅」で下車。(水戸駅から土浦駅間約55分、東京駅からひたち野うしく駅間約70分)

「土浦駅」(西口3番のりば)又は「ひたち野うしく駅」(東口1番のりば)から「筑波大学中央」行きバスに乗車、「平砂学生宿舍前(統合医療センター)」で下車(約40分)、徒歩3分。

高速バス

※ご利用前に運行状況をご確認ください。

成田空港(約60分)、羽田空港(約120分)、茨城空港(約60分)から「つくばセンター」行きに乗車、「つくばセンター」で下車。

JR東京駅〔八重洲南口2番のりば〕から「筑波大学」または「つくばセンター」行きに乗車、「つくばセンター」で下車。(約70分)

「つくばセンター」(6番のりば)から「筑波大学中央」行き又は「筑波大学循環(右廻り)」バスに乗車、「平砂学生宿舍前(統合医療センター)」で下車(約10分)、徒歩3分。

自動車

常磐自動車道「桜土浦インターチェンジ」で下り左折、約1km先「大角豆(ささぎ)」交差点右折(学園東大通りへ)

約5km先「妻木」交差点を下館方面へ左折(学園北大通りへ)、約1km先「春日1丁目西」交差点で右折(学園西大通りへ)、約1km先「大学病院西」交差点で右折約200m。

首都圏中央連絡自動車道「つくば中央インターチェンジ」で下り右折(サイエンス大通りへ)

約800m先交差点(看板:筑波学園都市県道19号線)で右折し約1km先「大境」交差点で右折(土浦学園線へ)、約3km先「学園西」交差点で左折(学園西大通りへ)、約2km先「大学病院西」交差点を右折約200m。

タクシーを利用する場合

本学保健科学部は、春日キャンパスにありますので、行き先を「筑波技術大学の春日キャンパス」と伝えてください。(つくばセンターから約5分)



視覚に障害のある学生が学ぶ 保健科学部

〒305-8521

茨城県つくば市春日 4-12-7

<https://www.tsukuba-tech.ac.jp>

お問い合わせ

入試関係 視覚障害系支援課 教務係
TEL 029-858-9507 ~ 9509
FAX 029-858-9517

就職関係 視覚障害系支援課 学生係
TEL 029-858-9506、9513
FAX 029-858-9517

Publishing ;
Faculty of HEALTH SCIENCES
Tsukuba University of Technology

4-12-7 Kasuga, Tsukuba-City,
Ibaraki 305-8521, Japan



国立大学法人

筑波技術大学

筑波技術大学のコミュニケーションマークは、大学の成長と発展、ポジティブな拡散を感じられるデザインとなっています。それぞれのオブジェクトは、聴覚障害者にとっての視覚、視覚障害者にとっての聴覚を表現し、二つのオブジェクトの組み合わせで、障害に縛られないコミュニケーションを、また、人とその周囲の社会や環境を表現しました。